

2024年4月10日

お客様各位

株式会社堀場製作所
バイオヘルスケア本部

UDP ベースのアプリケーション層プロトコル実装におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性について

平素は、当社医用製品および医用システム製品をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。本脆弱性に関する情報について、セキュリティインシデント未然防止の観点から、下記のとおりご案内いたします。

記

- 「UDP ベースのアプリケーション層プロトコル実装におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性」について
 - UDP を利用するアプリケーション層のプロトコル実装において、サービス運用妨害 (DoS) の脆弱性が報告されています。本脆弱性の影響を受けるプロトコル実装では、通常、不正な通信に対してエラーメッセージを返しますが、IP が偽装されていた場合、偽装された IP に対してエラーメッセージを返します。偽装されたサーバーも同脆弱性の影響を受ける場合、同じ動作によりエラーメッセージを返すため、相互にエラーメッセージを送信し続け、リソースを消費します。
- 当社医用製品および医用システム製品への影響について
現在、当社が製造販売している医用製品および医用システム製品への影響は低いと判断しております。継続して情報監視し、結果は随時更新します。

今後もお客様および患者様に安全・安心をお届けできるよう努めますので、引き続きご愛顧賜りますようお願いいたします。

本脆弱性についての詳しい情報、以下の URL から入手可能です。

<https://jvn.jp/vu/JVNVU93188600/>

以上